



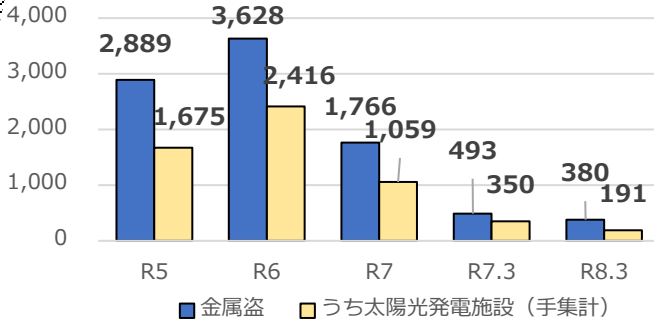
県警HP



防犯アプリ

金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

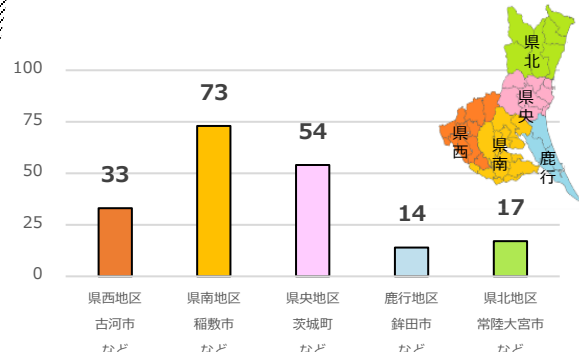
1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が **全国 1 位**
 発生件数は、昨年同時期 **約 22% 減**
 太陽光発電施設での被害が **約 50%**

太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和8年3月末の地域別の発生件数（暫定値）



県南地区で約 4 割
 小規模太陽光発電施設での発生が多い

金属盗等の現状と対策

倉庫・建設現場で保管中の資材の保管方法に注意！

県西地区を中心に、倉庫や建設現場等から銅線ケーブルが盗まれる被害が確認されています。無施錠のシャッターや出入り口等から侵入されて被害に遭っています。施錠を確実にし、また侵入されても、容易に盗まれないよう、保管中の資材は「結束・固定」して対策しましょう。大型ケーブルドラムは、ケーブルドラム自体を固定物と連結させたり、ドラム同士を強固なチェーン等で連結させるなどの対策が効果的です。



「盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律」の施行！

業務その他正当な理由なく、一定のケーブルカッター・ボルトクリッパーの隠匿携帯が禁止されました。詳細は、県警ホームページなどをご覧ください。



一度、泥棒に入られたら、もう盗まれない？

そんなことはありません。3月中には、1週間の間に2度、同じ場所で窃盗被害が発生した例や、1年後に同様の窃盗被害に遭った例もあります。泥棒は、いつでも盗む機会をうかがっています。同じ被害に遭わないよう、油断せずに、防犯対策を行きましょう。

金属盗対策、推進中！

3月中、金属窃盗事件の犯人を検挙しています。詳細は、県警HP・防犯アプリ（いばらきポリス）をご確認ください。

※情報は随時更新



太陽光発電施設被害抑止対策

複数対策が有効です！



- ・ フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・ 機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・ 警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・ 引込柱や集電箱へのフェンスやカバーの設置（ケーブル切断対策）
- ・ ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・ケーブル管内の固定など）
- ・ 防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・ アルミケーブルの導入
- ・ センサーライトなどの照明機器の設置

